

研究機関：広島大学

研究課題名	日本における HIV 感染者・エイズ患者の発生動向に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科健康情報学 教授 梯 正之
研究期間	2020年9月17日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
対象者	2003年1月から2017年12月の間に、独立行政法人国立病院機構大阪医療センターまたは琉球大学医学部感染症制御学講座(第一内科)を受診した HIV/AIDS の患者さん
意義・目的	<p>2014年国連合同エイズ計画(UNAIDS)が、HIV感染拡大防止に向けたカスケード戦略[90(診断割合)→90(治療割合)→90(成功割合)戦略]を提唱して以来、各国で未診断者を含む HIV 感染者数の推定およびその方法論の開発が進められています。</p> <p>しかし、日本では、感染症法に基づき、毎年の新規 HIV/AIDS 報告件数が継続的に把握されているものの、毎年、未診断例も含めて何人が HIV に感染し(HIV 罹患数)、このうち何割が診断されているか(HIV 診断割合)との情報は無く、最初の 90(診断割合)の把握が困難な状況です。</p> <p>本研究は、国際的に用いられている複数の既存の方法を基盤に用いて、まずはパイロット的に大阪府、沖縄県における HIV 感染者数の推計値を提示するとともに、分析を進める上で工夫が必要と考えられた運用上のポイントを整理し、将来の全国推計の安定的な実施に必要な情報として活かしていくことを目的としています。</p>
方法	<p>本研究は、診療記録を用いて行われます。協力医療機関から情報提供を受けるにあたり、個人を識別できる情報は削除されており、このため、本学では対象者を識別することができないデータのみを扱うこととなり、解析には個人を特定できる情報は含まれておりません。</p> <p>診療記録から使用する情報：診断時年齢、性別、診断時居住地(都道府県)、診断日、診断時 CD4 陽性 T 細胞数($/\mu\text{L}$)、診断時ウイルス量(copies/mL)、診断時の AIDS の有無、感染カテゴリー(MSM, 異性間, 静脈薬物使用, 母子感染, その他)、死亡日、初診日、初診時病期、最終陰性年月、国籍、ART 開始年月、転帰</p>
共同研究機関	<p>国立感染症研究所感染症疫学センター (研究代表者：砂川 富正)</p> <p>独立行政法人国立病院機構大阪医療センター (責任者：白阪 琢磨)</p> <p>琉球大学医学部感染症制御学講座(第一内科) (責任者：健山 正男)</p>
試料・情報の管理責任者	国立感染症研究所感染症疫学センター 室長 砂川 富正
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5350 広島大学大学院医系科学研究科健康情報学 教授 梯 正之